

# 広報くろさき

第 82 号

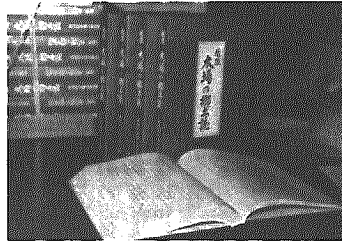
発行所 黒崎町役場  
印刷所 共立印刷機

## 木場公民館分館が

### 越後木場郷土誌を発刊

近年の著しい社会情勢の変貌に伴って、木場部落自身

もしいだいにその顔を変えつつあり、このため各家庭に昔から伝えられてきた。古記録なども消滅しようとしている。



え、このたび刊行のはこびとなつた。

## 五年の努力が実る

伝え、郷土を愛する人達が一人で多く育ってほしいと、こんな願いから部落の有志数名により編さんが始まり、幾多の困難を乗り越

事から、木場公民館分館で、郷土誌を編さんし、これを永く後世に

和への歩み、このほか、木場の文化財、歴史年表なども加えられ、四百数十頁からなっている。

わずか五百世帯の一部落が、一冊の本として郷土誌を刊行したことは、他市町村でもあまり例がないとして注目を集めている。

内容は、豊富で多彩にわたっており、第一章集落の誕生と藩制度のなかで、第二章民俗と風土第三章教育の普及、第四章明治から昭

### 〔町の動き〕

10月末日現在	
人口	18721+14
男	9183+12
女	9538+2
世帯	4507+5
9月1日から末日まで	
死亡	8
出生	32
婚姻	10

## 車を凶器に変える酒酔い運転

飲酒運転は交通四悪（酒酔、スピード、無免許、追越）の中で、最も悪質な行為であることは、みなさんもよく知っていることだと思います。しかし「俺は酔っていない」、「まだ大丈夫」、「ちよつとぐらい」が取り返しのつかない大きな事故につながります。

特にこれから年末にかけて、酒を飲む機会が多くなります。従って一人一人の自覚と、皆の力を結集して「飲酒運転」をこの町から追放しましょう。

また十一日から、来年の二月十八日まで県下一斉に、飲酒運転追放一〇〇日運動が始まります。

飲酒運転しない、させない黒埼町

飲んだ人、飲ませた人も同じ罪

自転車事故多発!!

## 十月歌会

母春る恋しらしらと明けゆきて雨の刈田のけぶれるが見ゆ  
雨多き十月を病む老い母にかかるき布団を襪は買ひ足す  
成海静  
俄雨に打たれしあきつ野路の水溜りに落ちて再び飛ばす  
半月を動きしのみにて百万のコンパイン納屋に蔵われ賑る  
青木 さい

幼な顔ぬけし娘の両頬が亡き母に少しつつ似る  
部屋中を人形の家にしたてあげ夏の一日を娘は遊びつぐ  
中倉 ぎぬ

山頂の手すりに貼られし案内図忘れだにせぬ江田島の文字  
爆弾を抱きて飛びし若鷺の育ちし島よじつと眺めぬ  
泉井 ヨ子

川の辺を三三五五に陣とりて絵を描く童らに秋の陽のふる  
軟らかき光となりし今朝の道法に小さく野菊咲き初む  
西潟たみ子

竹工芸日本一そと謳はるる友の送りし梨の美味しさ  
台風の猛威を恐れまだ惜しき雨戸をサッシに皆変えにけり  
柏 直樹地

勤めより掃りしならむ日の暮れて漸やく向ひの家は灯れり  
一人起き二人起き来てそそくさと朝餉すませて皆が出てゆく  
酒井 庄平

果てもなきわびしき音す耳鳴りは動脈硬化の二次症状といふ  
かつてわが経験のなきわびしさの耳鳴りの音絶ゆることなし  
小林 弘

飲酒運転  
何んの人が  
死んだら  
やめるやうし



○自転車で買い物に行く途中、一時停止せず大通りに出た為、車に接触、転倒、二週間のケガ  
○通りのはげしい道路を進行中風のためハンドルがふらつき、後方から来た車に接触転倒、足の骨を折って、二ヶ月のケガ  
こんな事故が相ついで起きております。ルールを守って、十分注意しましょう。